

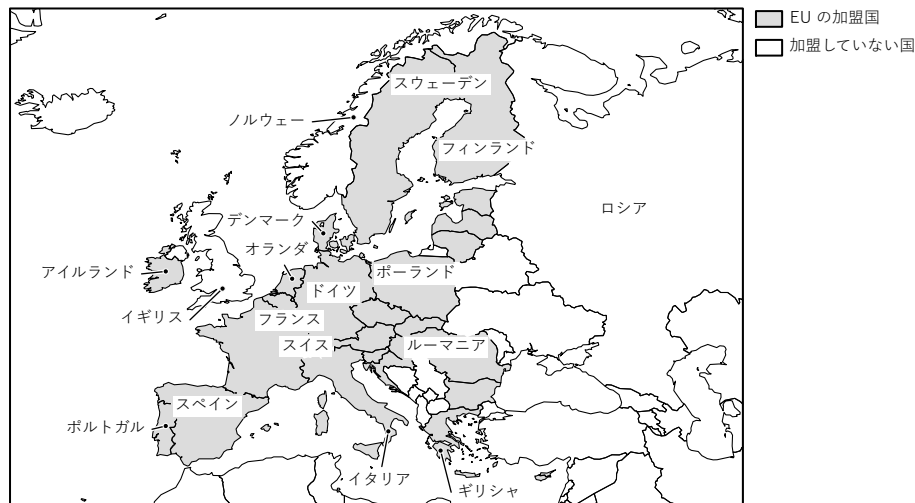
中学1年 社会 授業用プリント ④ 世界の諸地域② ヨーロッパ州

1 全体像	2・3 自然	4・5 人々と農業	6・7 EU の統合	8・9 環境	10・11 統合の課題	12 まとめ
-------	--------	-----------	------------	--------	-------------	--------

1 この単元の全体像 — なぜ1つにまとまろうとしている？

このページのゴール ヨーロッパ州の場所と主な国、この単元で学ぶ5つのことを、ざっと言える

サッカー・料理・旅行でも、イギリス・フランス・イタリアなどの名前を聞きます。ロンドンやパリは北海道の札幌より北にあり、面積の小さな国々が、国境をこえて1つにまとまろうとしてきました。③で学んだ ASEAN よりも強いまとまりです（地図の灰色の国々が EU に入っている国。6ページ）。



地圖：Natural Earth

① ヨーロッパの自然 地形と気候

くわしくは2・3ページ

山脈・川の名前と、冬が温暖なわけ

② 人々の暮らしと農業 言葉・宗教・農業

くわしくは4・5ページ

北・南・東の言葉と宗教、3つの農業

③ EU の統合 まとまった国々

くわしくは6・7ページ

まとまったわけと、変わったこと

④ 環境を守る取り組み 国境をこえた協力

くわしくは8・9ページ

国境をこえる環境問題と、国々の協力

⑤ 統合の課題とまとめ 差と意見のちがい

くわしくは 10~12ページ

西と東の差・移民・難民と、まとめ

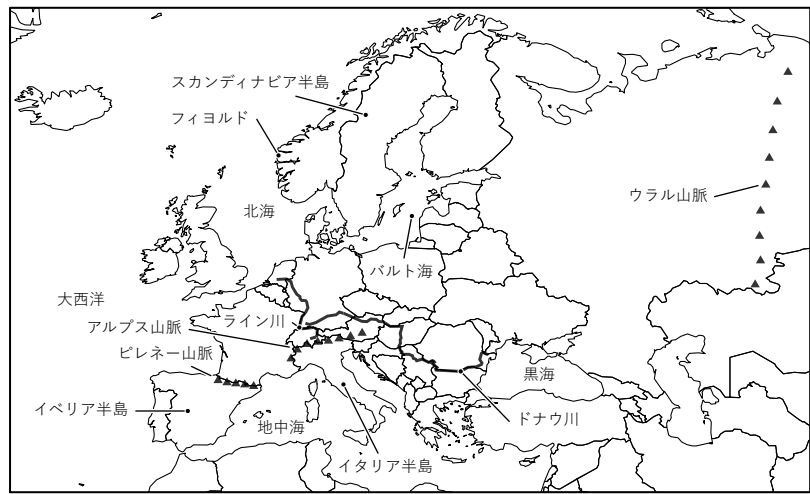
この単元の問い 国どうしが1つにまとまると、どんなよいこと・課題が生まれる？（答えは12ページ）

[illegible]

2 ヨーロッパには、どんな国と地形がある？

このページのゴール 主な国の場所と、山脈・川・半島・海の名前を、地図で言える

① 地図で、地形の名前を見つけよう（主な国の場所は1ページの地図）



地図：Natural Earth

地形	名前と、場所・特徴
山脈	アルプス山脈 （ヨーロッパの中央部から南部。高くけわしい）／ ピレネー山脈 （スペインとフランスの国境）
川	ライン川 （アルプス山脈から北海へ。スイス・ドイツ・オランダなどを通る）／ ドナウ川
半島	スカンディナ비아半島 （ノルウェー・スウェーデンなど）／ イベリア半島 （スペイン・ポルトガル）／ イタリア半島 （イタリア）
海	地中海・北海・バルト海・黒海（西は大西洋）



フィヨルド
（ノルウェーのストランダ）



ライン川を行く貨物船
（ドイツのローレライ）

写真：Ximonic (Simo Räsänen) (CC BY-SA 3.0)、Rolf Kranz (CC BY-SA 4.0)。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

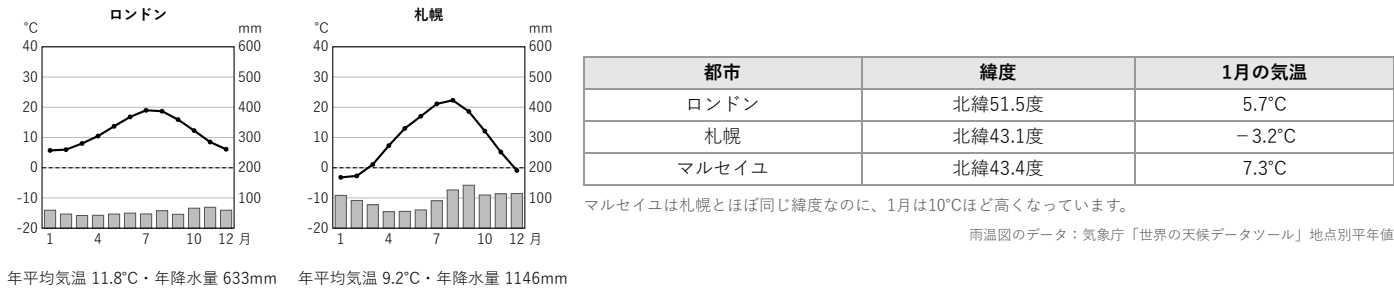
国際河川＝いくつかの国を流れ、どの国の船も自由に通れる川（ライン川・ドナウ川）
フィヨルド＝氷河にけずられた谷に海水が入りこんでできた、奥行きのある細長い湾（ノルウェーの西の海岸）

アジアとヨーロッパにまたがる国 **ロシア** 世界でいちばん面積の広い国。**ウラル山脈**より西がヨーロッパ、東の**シベリア**がアジアです。石油や天然ガスが豊富で、首都モスクワと日本海に面したウラジオストクを、シベリア鉄道が結んでいます。

3 ヨーロッパは、北海道より北にあるのに、なぜ冬が温暖？

このページのゴール 冬が温暖なわけを「暖流」「偏西風」を使って言え、3つの気候の場所が分かる

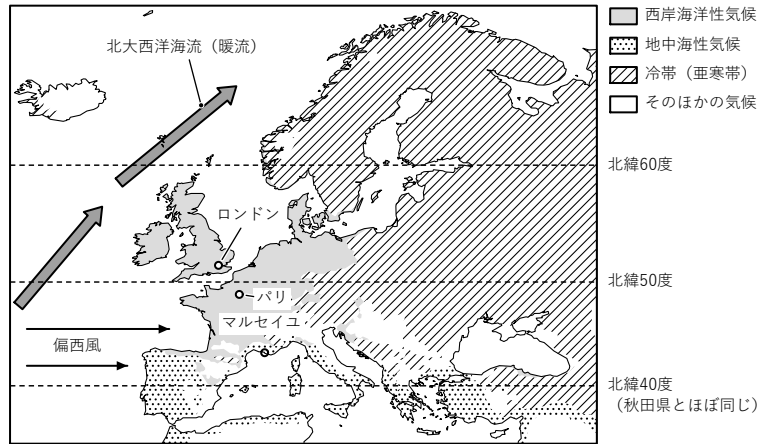
ロンドンもパリも、札幌より北にあります。



冬が温暖なわけと、ヨーロッパの3つの気候

ヨーロッパの西部が高い緯度なのに冬が温暖なのは、暖流の北大西洋海流の上をふく偏西風が、あたたかい空気を運んでくるから

- ① 赤道に近い南の海から、まわりの海より温かい海流（暖流。反対に、北極や南極に近い所からの冷たい海流が寒流）が北東へ流れてくる
- ② 暖流の上の空気が、あたためられる
- ③ 1年中西からふく偏西風が、あたたかい空気を陸へ運ぶ



気候：H. E. Beck ほか（2023）の Köppen-Geiger 気候区分図（1991～2020年。CC BY 4.0）を4つにまとめた。地図：Natural Earth

西部・北西部は西岸海洋性気候（気温と降水量の変化が小さく、冬も比較的温暖）、地中海の沿岸は地中海性気候（夏は乾燥して雨が少なく、冬に雨が多い）、東部と北部は冷帯（亜寒帯）です。

4 ヨーロッパの人々は、どんな言葉を話し、何を信じている？

このページのゴール 北・南・東の言葉と宗教のセットを言え、共通の文化が統合の背景になったことが分かる

ヨーロッパには、言葉や民族を基にした面積の小さな国が多くあります（世界でいちばん小さい国のバチカン市国は、イタリアのローマ市の中）。言葉と宗教（どれもキリスト教の宗派）は、北・南・東で「セット」です。

① 北・南・東の「3つのセット」

おもな言葉のなかま（国ごと）

■	ゲルマン系	●	ラテン系
▨	スラブ系	□	そのほか

地図：Natural Earth

地域	言葉のなかま	おもな言葉	多い宗派
北西部	<u>ゲルマン系</u>	英語・ドイツ語など	<u>プロテスタント</u>
南部	<u>ラテン系</u>	フランス語・イタリア語・スペイン語など	<u>カトリック</u>
東部	<u>スラブ系</u>	ロシア語・ポーランド語など	<u>正教会</u>

なかま	あいさつの例
ゲルマン系	英語 Good morning／ドイツ語 Guten Morgen
ラテン系	フランス語 Bonjour／イタリア語 Buongiorno

同じなかまの言葉は、あいさつも似ています。

② セットにならない国もある

国	言葉	多い宗派
ポーランド	スラブ系	カトリック
アイルランド	英語（ゲルマン系）	カトリック
ルーマニア	ラテン系	正教会
ギリシャ	ギリシャ語（3つのどれでもない）	正教会

だから、言葉も宗教も「多い」と言います。ドイツは北にプロテスタント、南にカトリックが多く、フィンランドやハンガリーの言葉も3つのどれでもありません。

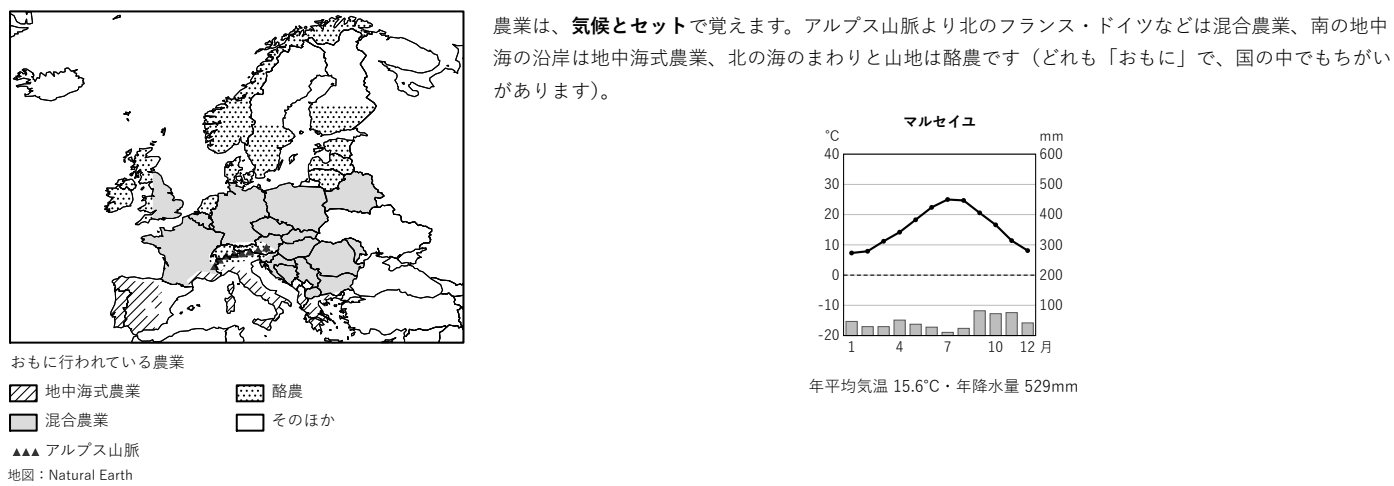
共通の文化：キリスト教の教会が町の中心にある・日曜日を休みにする・クリスマスを祝う・アルファベットを使う言葉が多い。国はちがっても共通の文化があることが、国々がまとまりやすかった背景の1つです（6ページ）。

注意 ×スラブ系の言葉の国は、どこも正教会 → ○ポーランドは**カトリック**が多い。「多い」であって「すべて」ではない

合言葉 「北はゲルマン・プロテスタント、南はラテン・カトリック、東はスラブ・正教会」

5 ヨーロッパの農業は、なぜ地域でちがう？

このページのゴール 3つの農業を、場所と気候のわけとといっしょに言える



雨温図のデータ：気象庁「世界の天候データツール」地点別平年値

農業	何をする	どこで	なぜその地域か
混合農業	穀物や家畜のえさになる作物を育て、豚や牛も飼う	アルプス山脈より北（フランス・ドイツなど）	夏も雨があり、穀物が育つ
酪農	乳牛を飼い、牛乳・チーズ・バターをつくる	北部（デンマークなど）・アルプスの山地	夏がすずしく、穀物は育ちににくいが牧草はよく育つ
地中海式農業	夏にオリーブ・ぶどう・オレンジ、冬に小麦を育てる	地中海の沿岸（イタリア・スペインなど）	夏に乾燥し、冬に雨が多い

フランスはEUの中で農業がいちばんさかんな国で、小麦などを多く輸出しています（混合農業の例）。

雨温図から、地中海式農業を考える

オリーブ畑
(スペインのアンダルシア)

乳牛の放牧
(スイスのアルプス山脈)

写真：Wildmountainscene (CC BY-SA 3.0)、Ramessos (CC BY-SA 3.0)。
Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

- マルセイユの夏は雨が少ない（7月は10.7mmで、1年でいちばん少ない）→ 乾燥する
- 乾燥に強い**オリーブ・ぶどう**や**オレンジ**などを、夏に育てる
- 雨がふえる秋から冬（9～11月は72～82mm）に、**小麦**を育てる

注意 × 混合農業は、いろいろな野菜を混ぜて育てる農業 → ○ 穀物づくりと家畜の飼育を組み合わせる農業

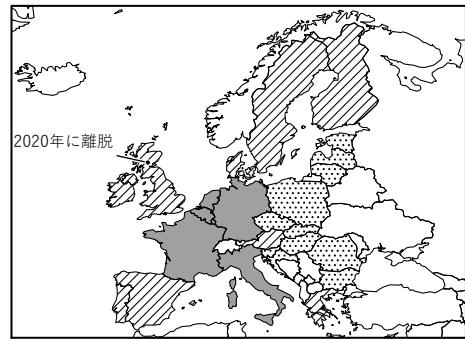
6 ヨーロッパの国々は、なぜ1つにまとまろうとした？

このページのゴール 統合の3つのわけと、EC から EU への流れを言える

① まとまろうとした3つのわけ

- ① 2度の世界大戦で国土があれた → 戦争をくり返さないために、国どうしを結びつけよう
- ② アメリカ合衆国などの大国に負けない、強い経済をつくろう
- ③ キリスト教などの共通の文化があり、まとまりやすかった（4ページ）

② EC から EU へ、広がっていった



EU の広がり

■ 1967年のECの6か国 ▨ 1973～1995年に加盟
● 2004年以降に加盟 □ 加盟していない国
地図：Natural Earth

年	できごと
1967年	EC（ヨーロッパ共同体）が6か国で始まる
1993年	<u>EU（ヨーロッパ連合）</u> が発足
2004年～	東ヨーロッパの国々が加盟
2020年	イギリスが離脱。加盟国は <u>27か国</u>

EU（ヨーロッパ連合） = ヨーロッパの国々が1つにまとまった集まり。1993年に発足し、加盟国は27か国

③ まとまると、どれくらい大きい？

	人口（2024年ごろ）
EU	約4億5000万人
アメリカ合衆国	約3億4000万人
日本	約1億2000万人

まとまると、アメリカ合衆国より人口の多い大きな市場になります。③で学んだ ASEAN も、国どうしが協力する集まりの例です。

注意 × EU の国は、はじめから今と同じ27か国 → ○ 6か国から始まり、広がってきた

▶ 統合のよい点：戦争をくり返さないまとまりができ、アメリカ合衆国より人口の多い市場になった

7 EU になって、人々の暮らしと産業はどう変わった？

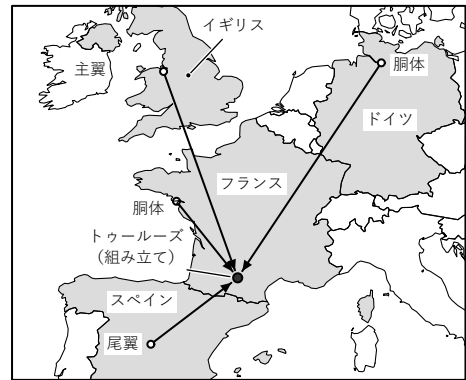
このページのゴール 統合で変わったことを、産業・暮らし・交通の3つの見方で言える

① 変わったことを、3つの見方で

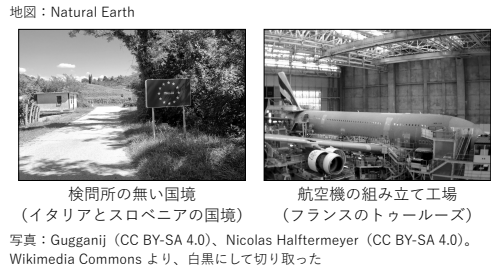
見方	変わったこと
産業	加盟国の間では、輸입品にかかる税金（ <u>関税</u> ）がかからず、物を安く売り買いできる。航空機を国々で分担してつくる
人々の生活	多くの国で共通の通貨 <u>ユーロ</u> を使い、両替がいらない。ほかの国で働いたり学んだり、買い物や通勤をしたりしやすい
交通	多くの加盟国の間で、国境でパスポートを見せずに行き来できる。国境をこえる鉄道や道路が整った

ユーロを使っていない加盟国もあります（デンマーク・スウェーデン・ポーランドなど）。

② 航空機を、国々で分担してつくる



- ① 主翼はイギリス、胴体はドイツとフランス、尾翼はスペインなどの工場で作る
- ② フランスのトゥールーズなどに運んで、組み立てる
- ③ 1つの国だけではつくれる大きな物を、国々の力を合わせてつくる



注意 × EUのすべての国がユーロを使っている → ○ ユーロを使っていない加盟国もある

合言葉 「人・物・お金が国境をこえる」

▶ 統合のよい点：人・物・お金が国境をこえて自由に動き、暮らしと産業が便利になった

8 国境をこえる環境問題に、ヨーロッパはどう取り組んでいる？

このページのゴール 酸性雨やライン川のよごれが、なぜ国々の協力で取り組む問題なのか言える

① 酸性雨は、国境をこえる

ヨーロッパは早くから工業が発展し、環境の問題にも早くから向き合ってきました。

酸性雨＝工場や自動車から出る排出ガスがとげこんだ雨。森林が枯れる・建物がとけるなどの被害が出る



酸性雨で枯れた森
(チェコのイゼラ山地)
写真：Lovecz (パブリックドメイン)。
Wikimedia Commons より、
白黒にして切り取った

- ① 工場や自動車が、排出ガスを出す
- ② 偏西風などの風に運ばれる (3ページ)
- ③ はなれた国で、雨にとけて降る
- ④ 森林が枯れる・湖の魚がへる・建物や銅像がとける
- ⑤ 1つの国だけでは防げない → 国々が条約 (国と国の約束) を結び、排出ガスをへらす

② 国境をこえて流れる川も、協力してきれいにする

ライン川は国際河川 (2ページ) です。川の水がよごれると、下流の国々も困ります。そこで、流域の国々 (スイス・ドイツ・フランス・オランダなど) が協力して、よごれた水をきれいにしました。

③ 地球温暖化を防ぐ目標

EU は、地球温暖化を防ぐため、**温室効果ガス** (二酸化炭素など、地球をあたためるガス) の排出を、2050年までに実質ゼロにする目標を立てています。

国境をこえる問題	国境をこえるわけ	国々の協力
酸性雨	排出ガスが、風に運ばれる	条約を結び、排出ガスをへらす
ライン川のよごれ	川がいくつもの国を流れる (国際河川)	流域の国々が、よごれた水をきれいにする

注意 × 酸性雨は、排出ガスを出した国だけの問題 → ○ 風に運ばれて**国境をこえる**ので、国々の協力が要る

合言葉 「国境をこえる問題は、国境をこえて協力」

▶ 統合のよい点：国境をこえる問題に、EU としてまとまって取り組める (温暖化の共通の目標など)

9 ヨーロッパの人々は、暮らしの中でどう環境を守っている？

このページのゴール 再生可能エネルギー・パークアンドライドなどの取り組みを、しくみといっしょに言える

① 風力で電気をつくる

再生可能エネルギー＝風力・太陽光・水力など、使ってもなくならず、二酸化炭素をほとんど出さないエネルギー



海上の風力発電
(デンマークの沖)



パークアンドライドの駐車場
(フランスのストラスブール)

写真：Kim Hansen, Richard Bartz (CC BY-SA 3.0), Kevin.B (CC BY-SA 4.0)。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

北海の沿岸やデンマーク・ドイツでは、3ページで学んだ偏西風を生かした風力発電がさかんです。

② 車を郊外にとめて、都心は電車で

パークアンドライド＝自動車を郊外の駐車場にとめ、鉄道やバス・路面電車に乗りかえて、都市の中心部へ行くしくみ

- ① 郊外の駐車場に、車をとめる（ドイツのフライブルクなどで取り入れられている）
- ② 鉄道・バス・路面電車に乗りかえる
- ③ 都市の中心部に入る車がへり、**渋滞と排出ガス**がへる

③ 買い物や観光でも

ドイツなどでは、飲み物のびんやペットボトルを店に返すと、上乗せしたお金がもどるしくみ（デポジット）があります。環境にやさしい商品を選ぶ人もふえています。観光では、夏などに長い休み（バカンス）をとり、農村や自然の中でゆっくり過ごす人も多くいます。

注意 ×パークアンドライドは、車で都市の中心部へ行きやすくするしくみ → ○郊外で乗りかえ、中心部に入る車をへらすしくみ

合言葉 「車は郊外に、都心へは電車で」

10 EU の中には、どんな差がある？ そこから何が起きている？

このページのゴール 西と東の賃金の差から起きていることを、人・工場・お金の動きで言える

① 西と東では、豊かさがちがう

経済格差＝加盟国の間の、豊かさのちがい

	西ヨーロッパ	東ヨーロッパ
国の例	ドイツ・フランスなど	ポーランド・ルーマニアなど
加盟した時期	早い時期（EC のころから）	2000年代（2004年以降）
賃金	高い	安い
EU のお金	多く出す	道路や工場づくりなどに使われる

東ヨーロッパの国々が加盟してふえた分、国どうしの豊かさの差が大きくなりました（6ページの地図の色とくらべましょう）。

② 差から、何が起きているか

- ① 人：仕事と高い賃金を求めて、東から西へ働きに出る人がふえた
 - ② 工場：西の国の会社が、賃金の安い東の国に工場をつくる
 - ③ お金：豊かな国が EU に出すお金が多く、まだ豊かでない地域の道路や工場づくりなどに使われる → 多く出す国に不満も出る
- 人・工場・お金の動きは、どれも「賃金や豊かさの差」が原因です。

③ 資料の読み方の例

人の移動を表す地図の矢印と、賃金の資料があるときは、次の順に読みます。

- ① 矢印の元の国と、行き先の国を見つける
- ② 賃金の資料で、元の国と行き先の国の賃金を、EU の平均ともくらべる
- ③ 元の国が低く、行き先が高ければ、「賃金の低い国から高い国へ人が移っている」と分かる

注意 × EU の中では、国どうしの豊かさの差はない → ○ 西と東で賃金の差が大きい × 人は、賃金の高い国から低い国へ移る → ○ 賃金の低い国から高い国へ移る人が多い

合言葉 「人は東から西へ、工場は西から東へ」

▶ 統合の課題：加盟国の間に経済格差がある

11 外国から来た人々をめぐって、何が起きている？ イギリスはなぜ EU をぬけた？

このページのゴール 移民・難民の受け入れや、イギリスの離脱から、統合の課題を言える

① 外国から来た人々

移民＝仕事などを求めて、ほかの国に移り住む人 **難民**＝戦争などで国をのがれた人

いつごろ	どこの国が	どんな人を	なぜ
1960年代ごろ	西ドイツ（今のドイツ）は フランスは	トルコなどから 北アフリカなどから	工業が発展し、働く人が足りなくなったから（労働者として受け入れた）
2015年ごろ	ヨーロッパの国々が	シリアなどから（難民）	戦争が続き、国をのがれた人が多かったから

- ① 移り住んだ人々が、その国の地域でくらすようになった
- ② 2015年ごろ、多くの難民がヨーロッパに来た
- ③ 受け入れをめぐって、国々の意見が分かれた

② イギリスの離脱

イギリスは、加盟してから約47年後に EU をぬけました（2020－1973＝47）。

- ① 1973年に、イギリスが加盟した
- ② 2016年に**国民投票**（国民が投票で決める）を行い、離脱を選んだ
- ③ EU の決まりや、EU に出すお金などへの不満があった（下の表）
- ④ 2020年に離脱した → 加盟国は**27か国**になった

	内容
わけとして言われたこと	・ EU の決まりではなく、自分の国で決めたい ・ EU に出すお金 ・ ほかの加盟国から移り住む人がふえたこと

国どうしの考えのちがいをどう乗り越えるかが、これからの課題です。

国民投票＝国の大切なことを、国民みんなの投票で決める方法。

注意 × イギリスは EU に加盟したことがない → ○ 1973年に加盟し、2020年に離脱した × 難民は、仕事を求めて自分から移り住む人 → ○ 難民は、戦争などで**国をのがれた人**

▶ 統合の課題：移民・難民の受け入れやEUの決まりをめぐって、国どうしの考えがちがう

12 ヨーロッパの統合を、まとめると？

このページのゴール 統合の背景・よい影響・課題を1つの図にまとめて言える（1ページの問いの答え）

① 統合の流れを、図にまとめる

背景	→ 統合で変わったこと	→ 課題	→ これから
・2度の世界大戦 ・アメリカ合衆国などの大国 ・キリスト教などの共通の文化	・産業：関税なし、航空機の分担 ・くらし：ユーロ、国境をこえた通勤・買い物 ・交通：パスポートなしの行き来 ・環境：EU で共通の目標	・経済格差（西と東） ・移民と難民の受け入れ ・イギリスの離脱	・差をへらす ・考えのちがいを話し合う

② ヨーロッパ州の特色

	ひとこと	ページ
自然	アルプス山脈・ライン川、北部にフィヨルド。西部は偏西風と北大西洋海流で温暖	2・3
人々	言葉は北西部ゲルマン系・南部ラテン系・東部スラブ系。キリスト教が共通の文化	4
農業	北は混合農業、北の海のまわりと山は酪農、地中海の沿岸は地中海式農業	5
統合	1993年に EU が発足、27か国。ユーロ・関税・国境が変わった	6・7
環境	酸性雨やライン川は国々が協力。風力発電・パークアンドライド	8・9
課題	西と東の経済格差、移民・難民、イギリスの離脱	10・11
ロシア	アジアとヨーロッパにまたがる。ウラル山脈が境。石油・天然ガスが豊富	2

③ 1ページの問いの答えを書く

- ① よい点を1つ選ぶ（6～8ページの最後の「統合のよい点」から）
- ② 課題を1つ選ぶ（10・11ページの最後の「統合の課題」から）
- ③ 「一方で」でつなぎ、よい点と課題の両方を書く

国境をこえて人・物・お金が動き、くらしや産業は便利になり、環境の問題にもまとまって取り組めるようになった。一方で、加盟国の間の経済格差や、移民・難民の受け入れをめぐる考えのちがいなどの課題も生まれた

注意 × 統合にはよい点しかない → ○ よい点と課題の両方がある

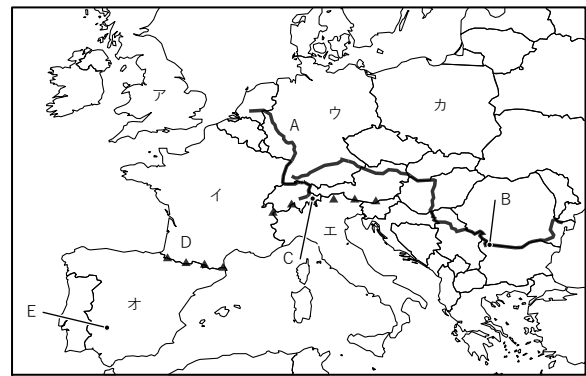
合言葉 「まとまると便利に、でも差と意見のちがいが課題」

確認問題① 国・地形・気候

答えと解説は17～19ページ（9・10枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

1 ヨーロッパの国と地形について、次の問いに答えなさい。【1・2ページ】

ア～カは、イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・スペイン・ポーランドのどれかです。A・Bは川、C・Dは山脈、Eは半島です。



地図：Natural Earth

- (1) ドイツはどれですか。ア～カから1つ選び、記号で書きなさい。_____
- (2) イタリアはどれですか。ア～カから1つ選び、記号で書きなさい。_____
- (3) Aの川の名前を書きなさい。_____
- (4) Bの川の名前を書きなさい。_____

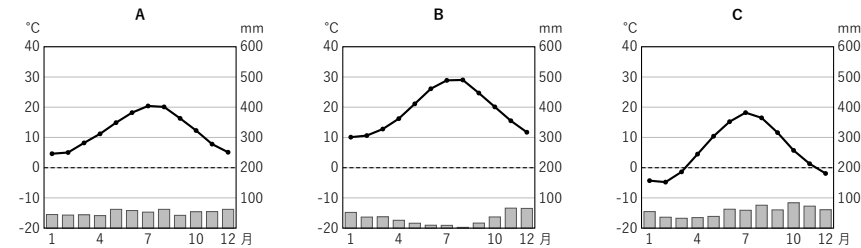
- (5) 国際河川とは、どのような川ですか。次から選びなさい。
ア 国と国の境だけを流れる川 イ 1つの国の中だけを流れ、その国の船だけが通れる川 ウ いくつもの国を流れ、どの国の船も自由に通れる川
次の山脈・半島の名前を書きなさい。
- (6) Cの山脈 _____
- (7) Dの山脈 _____
- (8) Eの半島 _____
- (9) ロシアで、ヨーロッパとアジアの境になっている山脈の名前を書きなさい。 _____

2 ヨーロッパの気候について、次の問いに答えなさい。【3ページ】

- (1) 日本やヨーロッパがある緯度で、1年中西からふく風を何といいますか。 _____
- (2) 大西洋を流れ、ヨーロッパの西の沖に向かう海流の名前を書きなさい。 _____
- (3) (2)の海流は、暖流と寒流のどちらですか。ア 寒流 イ 暖流 _____

都市	緯度	1月の平均気温
ロンドン	北緯51.5度	5.7℃
札幌	北緯43.1度	-3.2℃

- (4) 表で、ロンドンと札幌のうち、緯度が高いのはどちらですか。 _____
- (5) 表で、ロンドンと札幌の1月の平均気温の差は、およそ何℃ですか。 _____



雨温図のデータ：気象庁「世界の天候データツール」地点別平年値

- (6) A～Cのうち、1年を通して雨の量の差が小さく、冬も気温が0℃を下回らないのはどれですか。 _____
- (7) A～Cのうち、夏（6～8月）に雨がほとんど降らないのはどれですか。 _____
- (8) A～Cのうち、冬に気温が0℃を下回るのはどれですか。 _____

2 ヨーロッパの気候について（つづき）【3ページ】

- (9) 西部・北西部に広がる、気温と降水量の変化が小さい気候を何といいますか。 _____
- (10) 地中海の沿岸に広がる、夏に乾燥し冬に雨が多い気候を何といいますか。 _____
- (11) ロンドンは札幌より北にあるのに、冬の気温が札幌より高くなります。そのわけを、海流と風の名前を入れて書きなさい。

3 ヨーロッパの言葉と宗教について、次の問いに答えなさい。【4ページ】

- (1) 英語・ドイツ語など、北西部に多い言葉のなかまを何といいますか。 _____
- (2) ロシア語・ポーランド語など、東部に多い言葉のなかまを何といいますか。 _____
- (3) フランス語・イタリア語・スペイン語は、(1)・(2)のどちらでもない、もう1つのなかまです。このなかまの言葉が多い地域を選びなさい。
ア 東部 イ 南部 ウ 北西部
- 次の地域で多く信仰されている宗派は何ですか。
- (4) (1)が多い北西部 _____ (5) フランス語などが多い南部 _____ (6) (2)が多い東部 _____
- (7) (4)～(6)の宗派が、どれも属している宗教は何ですか。 _____
- (8) ポーランドは(2)の言葉の国ですが、(6)ではなく別の宗派が多い国です。その宗派を書きなさい。 _____
- (9) ヨーロッパの国々の共通の文化について、正しい文を選びなさい。
ア 教会が町の中心にある・日曜日を休みにするなどの共通の文化があり、国々がまとまりやすかった イ すべての国が同じ言葉を話すので、国境がなくなった
ウ 国ごとに信じる宗教がまったくちがうので、国々はまとまりにくかった _____

4 ヨーロッパの農業について、次の問いに答えなさい。【5ページ】

- (1) 穀物や家畜のえさになる作物を育て、豚や牛などの家畜を飼う農業を何といいますか。 _____
- (2) (1)の農業は、アルプス山脈の北と南のどちらでさかんですか。 _____
- (3) 乳牛を飼い、牛乳・チーズ・バターなどをつくる農業を何といいますか。 _____
- (4) (3)の農業が、夏がすずしい北部やアルプスの山地でさかんなのはなぜですか。「穀物」という語を使って書きなさい。

地中海の沿岸で育てられている物について答えなさい。

- (5) 夏に育てられている作物を1つ _____ (6) 冬に育てられている穀物 _____
- (7) (5)(6)のような栽培を行う農業を何といいますか。 _____
- (8) 地中海の沿岸で、(6)の穀物を秋から冬にかけて育てるわけを、気候から書きなさい。

5 ヨーロッパの国々の統合について、次の問いに答えなさい。【6・7ページ】

- (1) 1993年に発足した、ヨーロッパの国々の統合をめざす集まりを何といいますか。 _____
- (2) (1)の前身で、1967年に6か国で始まった組織を何といいますか。 _____
- (3) (1)の加盟国は、2020年にイギリスが離脱したあと、何か国ですか。 _____
- (4) (1)ができたわけとして正しい物を、ア～エからすべて選びなさい。
ア 戦争をくり返さないため イ アメリカ合衆国などの大国に負けない経済にするため ウ キリスト教などの共通の文化があったため
エ 世界中の国と国境をなくするため
- (5) 多くの加盟国で使われている、共通の通貨を何といいますか。 _____
- (6) (1)の加盟国のうち、(5)の通貨を使っていない国を選びなさい。
ア ドイツ イ デンマーク ウ フランス
- (7) 加盟国の間ではかからなくなった、輸入品にかかる税金を何といいますか。 _____

5 ヨーロッパの国々の統合について（つづき）【6・7ページ】

(8) (7)がかかると、加盟国の間の物の売り買いは、どうなりますか。

統合で変わったことは、ア 産業・イ 人々の生活・ウ 交通の3つの見方で整理できます。次の(9)～(11)は、どれにあてはまりますか。記号で書きなさい。

(9) ほかの国で働いたり学んだりしやすくなった (10) 国境をこえる鉄道や道路が整った (11) 航空機の部品を、いくつかの国の工場で分担してつくる

6 環境を守る取り組みについて、次の問いに答えなさい。【8・9ページ】

- (1) 工場や自動車から出る排出ガスがとけこんだ雨を何といいますか。 _____
- (2) (1)は、何に運ばれて国境をこえますか。 _____
- (3) (1)によって起こる被害を1つ書きなさい。 _____
- (4) ライン川について、正しい文を選びなさい。
ア 川が国境をこえるので、環境の問題は起きなかった イ スイスだけが、川のよごれを防ぐ決まりをつくった
ウ 流域の国々が協力して、よごれた水をきれいにしてきた _____
- (5) 使ってもなくならない風力・太陽光などのエネルギーを何といいますか。 _____
- (6) 北海の沖などでさかんな、1年中西からふく風を生かした発電を何といいますか。 _____
- (7) 自動車を郊外にとめ、鉄道やバスに乗りかえて中心部へ行くしくみを何といいますか。 _____
- (8) (7)のしくみの流れになるように、ア～ウを順に並べなさい。
ア 都市の中心部の渋滞と排出ガスがへる イ 郊外の駐車場に車をとめる ウ 鉄道・バス・路面電車に乗りかえる _____
- (9) 飲み物のびんやペットボトルを店に返すと、上乗せしたお金がもどるしくみを何といいますか。 _____

7 統合の課題について、次の問いに答えなさい。【10・11ページ】

- (1) 加盟国の間の、豊かさのちがいを何といいますか。 _____
- (2) ドイツやフランスなどの西ヨーロッパの国々は、ポーランドやルーマニアなどの東ヨーロッパの国々にくらべて、賃金が高いですか、低いですか。ア 高い イ 低い
- (3) 西ヨーロッパの国の会社が、東ヨーロッパの国に工場をつくるのはなぜですか。「賃金」という語を使って書きなさい。

- (4) EUの予算は、豊かな国が多くのお金を出し、まだ豊かでない地域の道路や工場づくりなどに使われます。このことについて、豊かな国から出る不満はどれですか。
ア 自分の国が出すお金が多すぎる イ 自分の国に工場ができすぎる ウ 自分の国の賃金が安すぎる _____
次の人を何といいますか。
- (5) 戦争などで自分の国をのがれてきた人 _____ (6) 仕事などを求めて、ほかの国に移り住む人 _____
- (7) イギリスが、国の決まりを自分の国で決めたいとして、2016年に行ったことは何ですか。 _____
- (8) (7)の結果、イギリスが2020年に行ったことを書きなさい。 _____

8 ヨーロッパの統合を、まとめましょう。【12ページ】

ア 2度の世界大戦で、ヨーロッパの国土があれた イ 国境をこえて人・物・お金が動き、くらしや産業が便利になった ウ 東と西の国の間で、賃金などの豊かさ
にちがいがあつた エ アメリカ合衆国などの大国に対抗して、経済を強くしたかった オ 国境をこえる環境問題に、EUとしてまとまって取り組んでいる カ 外
国から来た人々の受け入れをめぐる、国々の意見が分かれている

- (1) ア～カのうち、統合の「背景」にあたる物を2つ選びなさい。 _____
- (2) ア～カのうち、統合の「よい影響」にあたる物を2つ選びなさい。 _____
- (3) ア～カのうち、統合の「課題」にあたる物を2つ選びなさい。 _____

	ひとこと
自然	西部は、暖流の北大西洋海流の上をふく【あ】のえいきょうで、冬も温暖 (4) _____
統合	1993年に【い】が発足し、27か国が加盟している (5) _____
課題	西と東の豊かさのちがいが、外国から来た人々の受け入れ、イギリスがEUをぬけたこと

(4)は【あ】、(5)は【い】にあてはまる語を書きなさい。

覚えることの一覧（何も見ずに書けるか、紙でかくして確かめよう）

国と地形（2ページ）

アルプス山脈（中央部～南部、高くけわしい）・ピレネー山脈（スペインとフランスの国境）／ライン川・ドナウ川＝国際河川（いくつもの国を流れ、どの国の船も自由に通れる）／半島＝スカンディナヴィア・イベリア・イタリア／海＝地中海・北海・バルト海・黒海／フィヨルド（氷河にけずられた谷に海水が入りこんだ湾。ノルウェーの西の海岸）／ロシア＝ウラル山脈より西がヨーロッパ、東（シベリア）がアジア、世界の面積、石油・天然ガス、シベリア鉄道

温暖なわけと3つの気候（3ページ）

暖流の北大西洋海流の上をふく偏西風（1年中西からふく風）が、あたたかい空気を運ぶ。

気候	場所と特徴
西岸海洋性気候	西部・北西部。気温・降水量の変化が小さく、冬も比較的温暖
地中海性気候	地中海の沿岸。夏は乾燥して雨が少なく、冬に雨が多い
冷帯（亜寒帯）	東部・北部。冬の寒さがきびしい

言葉と宗教（4ページ）

地域	言葉のなかま	多い宗派
北西部	ゲルマン系（英語・ドイツ語）	プロテスタント
南部	ラテン系（フランス語・イタリア語・スペイン語）	カトリック
東部	スラブ系（ロシア語・ポーランド語）	正教会（ポーランドはカトリックが多い）

3つの農業（5ページ）

農業	場所	内容
混合農業	アルプス山脈より北（フランス・ドイツ）	穀物の栽培＋家畜の飼育
酪農	北部（デンマーク）・アルプスの山地	乳牛を飼い乳製品をつくる
地中海式農業	地中海の沿岸（イタリア・スペイン）	夏＝オリーブ・ぶどう／冬＝小麦

EU（6・7ページ）

1967年 EC（6か国）→ 1993年 EU 発足 → 27か国（2020年にイギリスが離脱）。わけ＝戦争をくり返さない・大国に負けない経済・共通の文化。変わったこと＝産業（関税なし・航空機の分担）／くらし（ユーロ）／交通（パスポートなしの行き来）。

環境（8・9ページ）

酸性雨（風で国境をこえる → 国々が協力）／ライン川を流域の国々がきれいに／2050年に温室効果ガスを実質ゼロ／再生可能エネルギー・風力発電（偏西風を生かす）／パークアンドライド（郊外で乗りかえ、都心の車をへらす）／デポジット

課題（10・11ページ）

経済格差：西（賃金高）と東（賃金低）→ 人は東から西へ、工場は西から東へ、豊かな国は EU に出すお金が多く不満／移民（仕事などを求めて移り住む人）と難民（戦争などでのがれた人）の受け入れで意見が分かれる／イギリス：2016年に国民投票、2020年に離脱

合言葉

「北はゲルマン・プロテスタント、南はラテン・カトリック、東はスラブ・正教会」（4）／「人・物・お金が国境をこえる」（7）／「国境をこえる問題は、国境をこえて協力」（8）／「車は郊外に、都心へは電車で」（9）／「人は東から西へ、工場は西から東へ」（10）／「まともだと便利に、でも差と意見のちがいが課題」（12）

確認問題の答えと解説

1【1・2ページ】

- (1) **ウ**
フランスの東、ポーランドの西にある国がドイツ。【1】
- (2) **エ**
地中海にのびるイタリア半島にある国。【1・2】
- (3) **ライン川**
アルプス山脈から北海へ流れる川。【2】
- (4) **ドナウ川**
ライン川とならぶ、いくつもの国を流れる川。【2】
- (5) **ウ**
ライン川やドナウ川のような、国をまたぐ川のこと。【2】
- (6) **アルプス山脈**
ヨーロッパの中央部から南部の、高くけわしい山脈。【2】
- (7) **ピレネー山脈**
スペインとフランスの国境にある山脈。【2】
- (8) **イベリア半島**
スペインとポルトガルがある半島。【2】
- (9) **ウラル山脈**
ウラル山脈より西がヨーロッパ、東のシベリアがアジア。【2】

2【3ページ】

- (1) **偏西風**
季節で向きが変わる季節風とはちがい、1年中西からふく。【3】
- (2) **北大西洋海流**
ヨーロッパの西の沖を流れる海流。【3】
- (3) **イ**
赤道に近い南の海から流れてくる、温かい海流。【3】
- (4) **ロンドン**
北緯51.5度のほうが、北緯43.1度より北。【3】
- (5) **およそ9℃ (8.9℃)**
 $5.7 - (-3.2) = 8.9$ 。ロンドンのほうが北なのに、冬はあたたかい。【3】

- (6) **A**
A（パリ）は毎月41～62mmで雨の差が小さく、1月も4.6℃。【3】
- (7) **B**
B（アテネ）は6～8月が9.8・9.4・2.6mmと、夏に雨がほとんど降らない。【3】
- (8) **C**
C（ヘルシンキ）は1月が－4.3℃、2月が－4.8℃。【3】
- (9) **西岸海洋性気候**
西部は、暖流と偏西風のえいきょうで冬も比較的温暖。【3】
- (10) **地中海性気候**
夏に乾燥し、冬に雨が多いのが特徴。【3】
- (11) **(例) 暖流の北大西洋海流の上を偏西風がふき、あたたかい空気を運んでくるから。**
入れる語：「暖流（北大西洋海流）」「偏西風」。【3】

3【4ページ】

- (1) **ゲルマン系**
英語の Good morning とドイツ語の Guten Morgen は似ている。【4】
- (2) **スラブ系**
東部の言葉のなかま。【4】
- (3) **イ**
フランス語・イタリア語・スペイン語は南部に多い。【4】
- (4) **プロテスタント**
ゲルマン系の北西部はプロテスタント。【4】
- (5) **カトリック**
南部はカトリック。【4】
- (6) **正教会**
東部は正教会。【4】
- (7) **キリスト教**
3つとも、キリスト教の宗派。【4】
- (8) **カトリック**
言葉と宗派は「多い」セットで、例外の国もある。【4】
- (9) **ア**
国はちがっても共通の文化があることが、統合の背景の1つ。【4】

4【5ページ】

(1) 混合農業

穀物づくりと家畜の飼育を組み合わせる。【5】

(2) 北

アルプス山脈より北のフランスやドイツなどでさかん。【5】

(3) 酪農

北の海のまわりや、アルプスの山地でさかん。【5】

(4) (例) すずしくて穀物が育ちにいが、牧草はよく育つから。

入れる語：「穀物」。【5】

(5) (例) オリーブ（ぶどう・オレンジも可）

夏の乾燥に合う作物を育てる。【5】

(6) 小麦

雨のふえる秋から冬に育てる。【5】

(7) 地中海式農業

夏に乾燥する気候に合わせた農業。【5】

(8) (例) 夏は乾燥するが、秋から冬は雨が多くなる気候だから。

入れる語：「雨が多い」。マルセイユは7月が10.7mmで、9～11月は72～82mm。【5】

5【6・7ページ】

(1) EU（ヨーロッパ連合）

1993年に発足。【6】

(2) EC（ヨーロッパ共同体）

ECが広がって、1993年に(1)になった。【6】

(3) 27か国

東ヨーロッパにも広がり、今は27か国。【6】

(4) ア・イ・ウ

3つのわけ。エのような目的ではない。【6】

(5) ユーロ

多くの国で両替がいらない。【7】

(6) イ

デンマークなど、使っていない加盟国もある。【7】

(7) 関税

加盟国の間では関税がかからない。【7】

(8) (例) 物を安く売り買いできる。

税金がかからない分、物が安くなる。【7】

(9) イ

人々の生活の見方。【7】

(10) ウ

交通の見方。【7】

(11) ア

産業の見方。【7】

6【8・9ページ】

(1) 酸性雨

森林が枯れる・建物がとけるなどの被害が出る。【8】

(2) 風（偏西風など）

風に運ばれて、はなれた国にも降る。【8】

(3) (例) 森林が枯れる（建物がとける）

被害は森林や建物に出る。【8】

(4) ウ

国際河川なので、流域の国々が協力した。【8】

(5) 再生可能エネルギー

地球温暖化を防ぐため、利用が進んでいる。【9】

(6) 風力発電

偏西風を生かした発電。【9】

(7) パークアンドライド

中心部の渋滞や排出ガスをへらすしくみ。【9】

(8) イーウォーア

車をとめる → 乗りかえる → 中心部がすく。【9】

(9) デボジット

ドイツなどで取り入れられている。【9】

7【10・11ページ】

(1) 経済格差

西と東の賃金の差など。【10】

(2) ア

西は賃金が高く、東は安い。【10】

(3) (例) 賃金の安い東の国で工場を動かすほうが、費用をおさえられるから。
入れる語：「賃金」。【10】

(4) ア

多く出す国に不満が出る。【10】

(5) 難民

2015年ごろ、シリアなどから多くの人が来た。【11】

(6) 移民

1960年代ごろに受け入れた労働者などもふくむ。【11】

(7) 国民投票

国民が投票で決めた。【11】

(8) (例) EUを離脱した。

1973年に加盟し、2020年に離脱した。【11】

8【12ページ】

(1) ア・エ

戦争と大国への対抗が、まとまろうとしたわけ。【6・12】

(2) イ・オ

統合で変わったこと。【7・8・12】

(3) ウ・カ

西と東の差、移民・難民をめぐる意見のちがい。【10・11・12】

(4) 偏西風

暖流の上をふく偏西風が、あたたかい空気を運ぶ。【3・12】

(5) EU (ヨーロッパ連合)

1993年にEUが発足した。【6・12】